

NO AIR POCKET

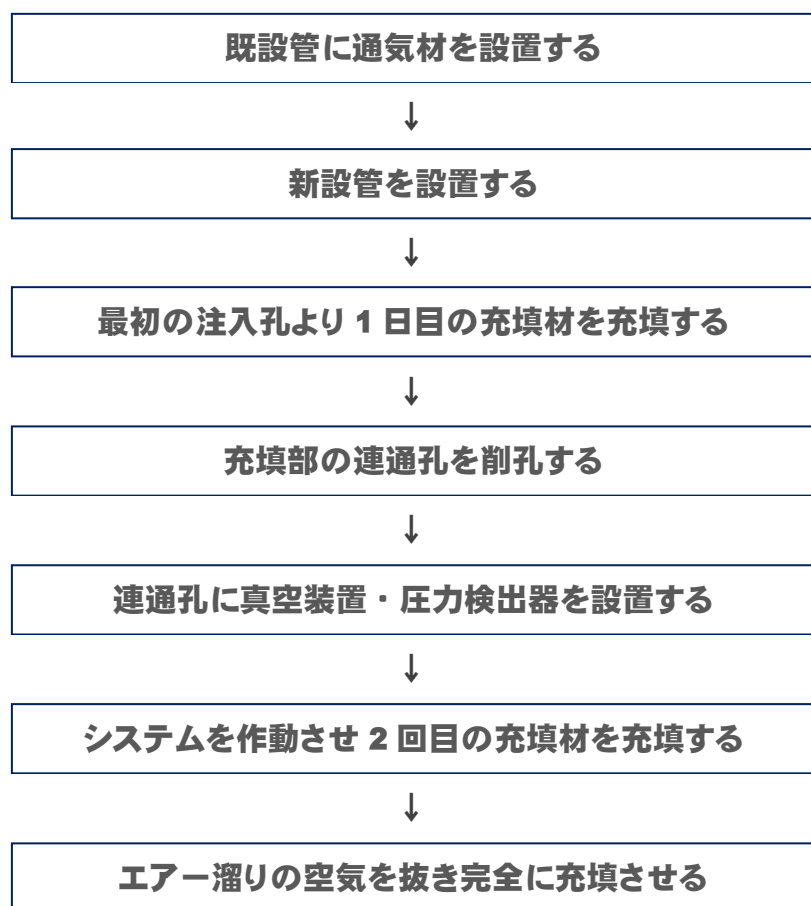
(特許第7202043号)



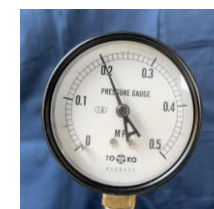
気密性の高い空隙部に数日かけて充填する際は
当工法を使用する事でエア－溜りを無くし
“完全充填”が可能となります

パイプインパイプ工法において既設管と新設管との空隙部への充填材の充填は重要な工程のひとつです。既設管と新設管との隙間が数cmと小さい場合も多く、充填用の注入孔の間隔も数十メートルと離れている為、数日間で施工する際は、前日の充填材に継ぎ足し充填する形となります。その際に懸念となる充填材同士の継ぎ目に発生する可能性のあるエア－溜りを当工法にて無くす事で完全充填が可能となります。

【 工法フロー 】

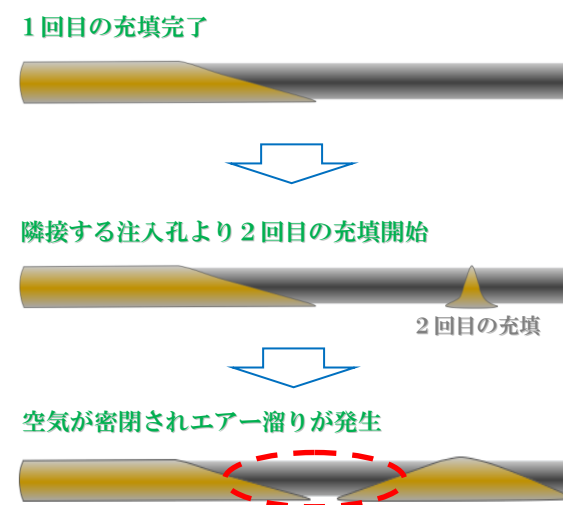


全エア終了
までループ

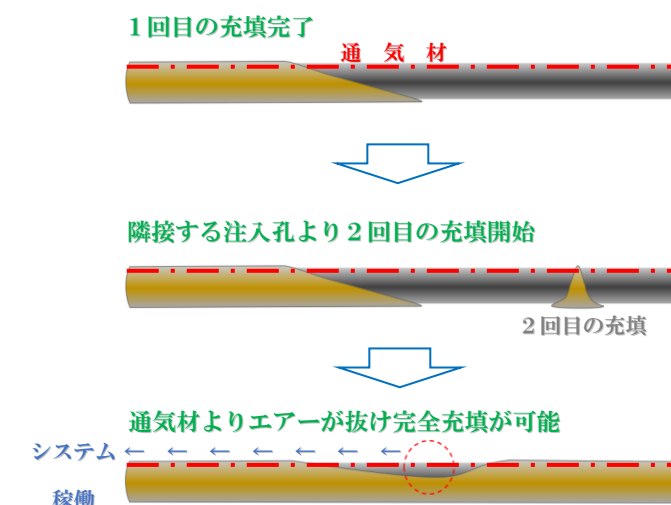


充填時に過度な注入圧力をかける事は、作業場の安全性
又は既存物及び新設管へ負荷が掛かり大変危険です

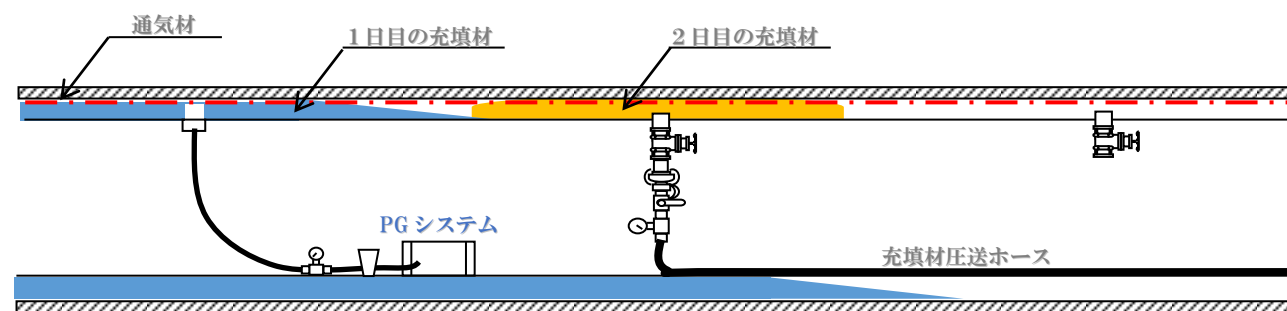
（ システム使用なし ）



（ システム使用あり ）



【 工法イメージ図 】



当充填システムは充填性を向上させるだけでなく
安全性・既存環境へも配慮した工法です

